

製品名: トロポニン I-C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19303**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	TNNI3
別名	TNNI3; TNNC1; Troponin I; cardiac muscle; Cardiac troponin I
遺伝子 ID	29248.0
SwissProt ID	P23693
免疫原	抗血清はマウス TNNI3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 5-54

背景

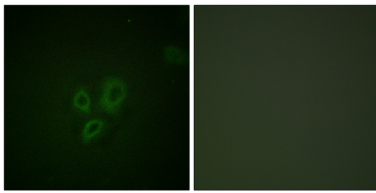
トロポニン I (TnI) は、トロポニン T (TnT) およびトロポニン C (TnC) とともに、横紋筋の細いフィラメントのトロポニン複合体を形成する3つのサブユニットの1つです。TnIは抑制サブユニットであり、アクチン-ミオシン相互作用を阻害することで横紋筋の

弛緩を調節します。TnI サブファミリーには、tnI-skeletal-fast-twitch、TnI-skeletal-slow-twitch、および TnI-cardiac の3つの遺伝子が含まれます。この遺伝子は TnI-cardiac タンパク質をコードし、心筋組織でのみ発現します。この遺伝子の変異は、家族性肥大型心筋症 7 型 (CMH7) および家族性拘束型心筋症 (RCM) を引き起こします。

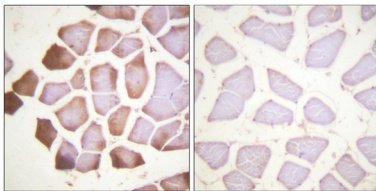
研究分野

シグナル伝達

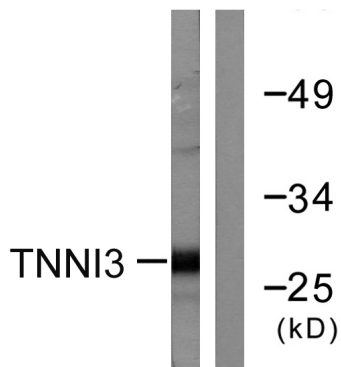
画像データ



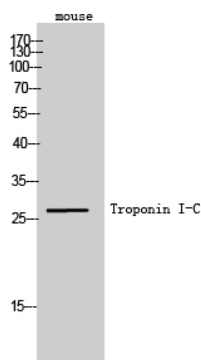
TNNI3 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TNNI3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト骨格筋組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TNNI3 抗体を用いたマウス心臓細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



トロポニン I-C ポリクローナル抗体を用いたマウス細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。